

本日の議事日程は次のとおりである。

令和7年和泉市議会第1回臨時会議事日程表（第1日）

（1月21日）

日程	種 別	番 号	件 名	摘 要
1			会議録署名議員の指名について	
2			会期の決定について	
3	報 告	1	専決処分の報告について（工事請負変更契約の締結について（市立いぶき野小学校大規模改修工事））	P. 2
4	報 告	2	専決処分の報告について（駐車場内事故に係る損害賠償の額の決定及び和解）	P. 12
5	報 告	3	専決処分の報告について（滞納債権支払請求に係る訴えの提起）	P. 16
6	議 案	1	令和6年度和泉市一般会計補正予算（第8号）	P. 19

本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6まで

（午前10時00分開会）

- 関戸繁樹議長 おはようございます。議員の皆様には御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

◎開会宣告

- 関戸繁樹議長 ただいまから令和7年第1回臨時会を開会いたします。
- ただいまの出席議員は定足数に達しております。
- 20番・末下広幸議員から欠席の届出があります。
- それでは、これより本日の会議を開きます。

◎市長挨拶

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

- 関戸繁樹議長 ここで、市長の挨拶を願います。

辻市長。

(市長登壇、開会挨拶)

- 辻 宏康市長 皆様、おはようございます。開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

このたび地方創生臨時交付金を活用した物価高騰に対する市独自支援策などに関しまして、取り急ぎ御審議をいただきたい議案が出てまいりましたことから、本日ここに令和7年和泉市議会第1回臨時会をお願いさせていただきましたところ、急な招集にもかかわらず議員皆様方の御出席を賜り、ただいま議会が成立いたしました。心から厚くお礼を申し上げます。

さて、今回御提案申し上げます案件は、令和6年度和泉市一般会計補正予算（第8号）など議案1件、報告3件でございます。内容等につきましては、別途御説明申し上げますので、何とぞよろしく御審議をいただき、御可決賜りますようお願い申し上げます。

以上、誠に簡単ではございますが、開会に当たりましての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

- 関戸繁樹議長 市長の挨拶が終わりました。

◎議事日程の報告

- 関戸繁樹議長 本臨時会に出席報告のあった者の氏名並びに本日の議事日程は、お手元に御配付のとおりでありますので、よろしく御了承を願います。

◎会議録署名議員の指名について

- 関戸繁樹議長 それでは、日程審議に入ります。

日程第1「会議録署名議員の指名について」を議題といたします。

本日の会議録署名議員には、1番・谷上 昇議員、15番・井阪雄大議員、以上2名の方を指名いたします。

◎会期の決定について

- 関戸繁樹議長 日程第2「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、さきの議会運営委員会の決定に基づき、本日1日といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。よって、本臨時会の会期は本日1日と決定いたします。

○

◎報告第1号 専決処分の報告について（工事請負変更契約の締結について（市立いぶき野小学校大規模改修工事））

○ 関戸繁樹議長 日程第3、報告第1号「専決処分の報告について（工事請負変更契約の締結について（市立いぶき野小学校大規模改修工事））」を議題といたします。

報告の説明を願います。

辻市長。

(市長登壇、報告説明)

○ 辻 宏康市長 ただいま御上程いただきました報告第1号について、辻より御説明申し上げます。

議案書の2ページでございます。

令和6年6月27日議決に係る市立いぶき野小学校大規模改修工事請負契約について、地方自治法第180条第1項及び市長の専決処分事項に関する条例第7号の規定により、令和6年12月23日に専決処分により変更契約を締結したものでございます。

その変更内容でございますが、和便器撤去に伴う開口部補強方法及び屋根改修方法の変更並びに屋根塗装及び外壁改修箇所の追加により、当初契約金額1億6,510万7,800円から1億7,018万7,600円に507万9,800円の増額を行ったものでございます。

以上、御報告申し上げます。

○ 関戸繁樹議長 市長の説明が終わりました。

本件について、質疑の発言はありますか。

はい、大浦議員。

○ 2番 大浦まさし議員 大浦でございます。

工事変更内容の説明に、和便器撤去部の鉄筋が不足していたため補強方法を変更したということですが、本来必要である施工されていなければならない鉄筋が抜けていたのかどうかというところを御説明ください。

○ 関戸繁樹議長 はい、答弁。

建築住宅室長。

○ 藤里茂郎都市デザイン部建築住宅室長 建築住宅室長の藤里です。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

和便器撤去後に床スラブの開口部をコンクリートにて閉塞する必要があり、その際に、既存の鉄筋へ補強鉄筋を緊結する予定でしたが、撤去範囲内には既存鉄筋が存在しなかったことから、それに代わる補強を行ったものです。

なお、既存鉄筋が出現しなかったことにつきまして、建設当時の施工に不備があったものではございません。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 はい、大浦議員。

○ 2番 大浦まさし議員 ありがとうございます。

鉄筋の不足というのが、建設当時の施工の不備ではないということが確認できましたので、そう理解して賛成したいと思います。

○ 関戸繁樹議長 他に質疑の発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

他に質疑ないものと認め、報告第1号を終わります。

○

◎報告第2号 専決処分の報告について（駐車場内事故に係る損害賠償の額の決定及び和解）

○ 関戸繁樹議長 日程第4、報告第2号「専決処分の報告について（駐車場内事故に係る損害賠償の額の決定及び和解）」を議題といたします。

報告の説明を願います。

はい、辻市長。

(市長登壇、報告説明)

○ 辻 宏康市長 ただいま御上程いただきました報告第2号について、辻より御説明申し上げます。

議案書の12ページでございます。

令和6年11月10日午後0時45分頃、大野町944番地の1の農林産物直売所駐車場内におきまして、消防職員が方向転換のため救急車を前進させようとしたところ、傾斜があったため車両が後方に下がってしまい、救急車の右後方部リアステップが、駐車していた相手方普通自動車の右前方に接触し損傷させたもので、市は修理費用及び代車費用として17万9,700円を賠償する必要があります。本件事故に係る市の責任割合は100%、賠償額は公益社団法人全国市有物件災害共済会自動車損害共済により全額填補するものでございます。

以上、御報告申し上げます。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

- 関戸繁樹議長 市長の説明が終わりました。

本件について、質疑の発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

別に質疑ないものと認め、報告第2号を終わります。

○

◎報告第3号 専決処分の報告について（滞納債権支払請求に係る訴えの提起）

- 関戸繁樹議長 日程第5、報告第3号「専決処分の報告について（滞納債権支払請求に係る訴えの提起）」を議題といたします。

報告の説明をお願いします。

辻市長。

(市長登壇、報告説明)

- 辻 宏康市長 ただいま御上程いただきました報告第3号について、辻より御説明申し上げます。

議案書の16ページでございます。

国税徴収法に基づき差押えた国民健康保険料、督促手数料及び延滞金の合計166万4,071円の支払いを滞納している主債務者の給与債権33万4,000円の支払いを、主債務者の雇用主である相手方に求める訴えの提起でございます。

以上、御報告申し上げます。

- 関戸繁樹議長 市長の説明が終わりました。

本件について、質疑の発言はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

別に質疑ないものと認め、報告第3号を終わります。

○

◎議案第1号 令和6年度和泉市一般会計補正予算（第8号）

- 関戸繁樹議長 日程第6、議案第1号「令和6年度和泉市一般会計補正予算（第8号）」を議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

はい、総務部長。

- 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

ただいま御上程いただきました議案第1号「令和6年度和泉市一般会計補正予算（第8

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

号) 」につきまして、その内容を御説明申し上げます。

議案書19ページをお願いいたします。

今回の補正予算は、国において国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策に関連する補正予算が令和6年12月17日に成立したことを受けまして、国から示されているエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者等に対する支援策を早急に実施するため、関連経費を計上したものでございます。

まず、第1条でございますが、既定の歳入歳出予算の総額に5億957万7,000円を追加し、総額を855億1,625万4,000円とするものでございまして、その内容は、後ほど事項別明細書に基づき御説明いたします。

次に、第2条は繰越明許費の補正でございまして、議案書21ページの「第2表 繰越明許費補正」に記載のお買い物割引チケット事業につきまして、翌年度に繰り越して事業を行おうとするものでございます。

続きまして、事項別明細書に基づき歳出予算から御説明申し上げます。

23ページをお願いいたします。

商工費の商業振興事業において、お買い物割引チケット事業第7弾といたしまして、市民1人当たり2,500円分の割引チケットを配布するため、郵送料として通信運搬費30万円、お買い物割引チケット事務委託料4,927万7,000円、お買い物割引チケット換金負担金4億6,000万円、合わせて5億957万7,000円を計上いたしました。

続きまして、歳入予算でございます。

ページ戻りまして、22ページをお願いいたします。

まず、国庫支出金において、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3億7,978万1,000円を追加計上いたしました。

次に、繰入金において、財政調整基金からの繰入金1億2,979万6,000円を追加計上いたしました。

以上、誠に簡単ではございますが、議案第1号「令和6年度和泉市一般会計補正予算（第8号）」の説明とさせていただきます。

なお、参考資料といたしまして補足資料を配付しておりますので、併せて御参照いただきまして、何とぞよろしく御審議の上、原案どおり御可決賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 説明が終わりました。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

お諮りいたします。本件については委員会付託を省略し、これより質疑を行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認め、これより質疑に入ります。

質疑の発言はありませんか。

山本議員。

○ 12番 山本秀明議員 12番・山本です。

ちょっと確認のために数点お聞きしたいと思います。

国の補正予算に伴う物価高騰対策については、さきの令和6年4月定例会において、低所得者支援として住民税非課税世帯1世帯当たり3万円、子ども1人当たり2万円を加算給付するこの補正予算が、既に追加議案として提出されて、審議、可決されたところであります。

今回の補正予算で計上されている物価高騰支援策については、これは、さきの分については国からこういうふうにせえということで全国統一でされてるものですが、今回の補正予算に対しては自治体の裁量によって判断できる、いわゆるお金というんですか、補正予算だというふうに思います。その中で、今回お買物チケットということで、市民1人当たり2,500円のチケットを配布するという、このやり方をするということでお示しいただいてるんですけど、まず、このお買物チケットをするに当たりましてどのような考えの下で、どういう意思決定の下でこの施策をするということを市として決定されたのか、その点についてまずお示しいただきたいと思います。

○ 関戸繁樹議長 はい、答弁。

市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田です。

今回の支援策は、低所得世帯への支援は、さきに御可決いただきました補正予算に基づき既に進めていることを踏まえまして、物価高騰は全市民に影響が及ぶことに鑑み、庁内各部署の意向も確認しながら、課税世帯を含めて幅広く全市民の生活支援に寄与する事業を行うことを決定したものです。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 はい、山本議員。

○ 12番 山本秀明議員 この施策を決定した理由については、幅広く市民全て物価高騰ということで影響しているということから、全市民にそれを還元するためということで、一定国

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

からのさきの補正予算に対して、低所得者に対してはそういう部分がありました。以前は各業界からの要望もあった中で、その辺についてもそうしたということもあるんですけど、今回については、全市民に対してその恩恵を受けていただくんだということで、その点については一定理解させていただきました。

次に確認したいんですけども、このお買物チケット。これは以前から数回実施、国からの予算を頂くたびに何回かやってきたというふうに思いますし、市民さんの間でも結構好評だったというふうにも感じております。

そこで、ちょっとお聞きしたいのは、これまでの実施された実績ですね。その点について、補足資料にも書いていただいているんですけども、チケットの使用期間であるとか使用実績、その点についてお示しいただけますでしょうか。

- 関戸繁樹議長 はい、環境産業部長。
- 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

お買物割引チケット事業につきましては、これまで令和2年度から令和5年度にかけて計6回実施しておりまして、チケットの使用期間はおおむね6か月、チケットの使用率は約95%から約98%と非常に高い水準を維持できているものと考えております。

以上です。

- 関戸繁樹議長 はい、山本議員。
- 12番 山本秀明議員 チケットの使用率については、平均で95%から98%と非常に高い使用率ですね。ということで、そしてまた、この施策に関しましては、物価高騰対策として市民がそのお金を使えると同時に、市内の商業者の需要喚起ということで効果的な事業であるというふうには一定認識しております。

市民に幅広く恩恵を受けていただく事業といたしましては、以前には電子マネーを使っただけのPay Payであるとかということもやったんですけど、その点については、一定ほかの市の市民からもそれを使えるということで、全額和泉市民に還元するには、このお買物チケットが有効ではないかなというふうにも私も感じております。その点は確認させていただきました。

次にお聞きしたいのは、事業規模の設定に対する考え方をお聞きしたいんですけども、今回、補正予算の財源につきましては、国の臨時交付金が約3億8,000万円のほか、財政調整基金から1億3,000万円計上されております。財政調整基金というのは、この市のお金ということで、国からの補助と市からのお金をプラスした形の中で、1人2,500円分の配布を予

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

定されているということなんですけども、国からの臨時交付金で収まる範囲で事業を実施するという選択肢もあったかというふうに思うんですけども、今回の事業規模を設定した、このことについての市の考えをお示しいただきたいと思います。

○ 関戸繁樹議長 はい、市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田です。

臨時交付金を活用した事業につきましては、補助率が10分の10であることを踏まえまして、交付金を余すことなく活用すべきと考えており、1人当たりのチケットを2,000円にした場合、チケットの使用率によっては臨時交付金を全て使用できなくなるため、1人当たり2,500円分の配布としたものです。

また、交付金の額を超える財源につきましては、令和6年12月に国から普通交付税の追加交付として約7億1,800万円の追加がありました。このうち経済対策の事業等を円滑に実施するため、臨時経済対策費として約1億9,600万円が算定されたことから、これを実質的な財源としまして財政調整基金からの繰入額を計上したものです。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 はい、山本議員。

○ 12番 山本秀明議員 事業規模の設定についてのお考えをお示しいただきました。

国からの臨時交付金、これ使わなかったら国に返さなあかんということで、できるだけ国で示されてる分については全て使っていきたいということで、例えば2,500円を2,000円にして、使用率もあるんですけども、余った場合は国に返すので、できるだけ全て使うために市からの財源も使ったと。

ただ、その財源については、先ほどお示しいただいたように、国からの普通交付税の追加分ですか。今回7億1,800万円ほどあったということで、かなり大きな額が追加交付された。その算定根拠としては、いわゆる経済対策ですか、臨時経済対策として国が見積もった分は、その7億1,800万円のうち1億9,600万円が算定された根拠になったということで。

ただ、普通交付税の追加交付については、絶対それに使わなくてはならないということはないんですけども、国の算定ではそういうふうに算定されたこともあって、取りあえずは財政調整基金から使ってるけども、このお金がもう多分、もう既に入ってきてるんですね。ということで、これを根拠にできると、財源できるということで、一定その点については理解させていただきました。

確認させていただきましたので、それで結構です。ありがとうございます。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

- 関戸繁樹議長 他に質疑の発言はございませんか。

阿部議員。

- 14番 阿部 博議員 14番の公明党の阿部です。会派を代表いたしまして、今回の一般会計補正予算、商工費のお買物チケット事業第7弾について、先ほどの山本議員の質問と重複する部分もありますが、質問させていただきます。

それでは、質問させていただきます。

改めてお買物チケット事業、概要の御説明をお願いいたします。

- 関戸繁樹議長 はい、答弁。

環境産業部長。

- 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けました市民生活の支援を行うとともに、市内の消費の喚起及び商業活性化を図ることを目的として実施するものです。

概要といたしましては、お買い物割引チケットの配布対象者は、令和7年4月1日現在、住民基本台帳に記載されている全市民で、市民1人あたりに配布する割引チケット額は500円券5枚つづり、合計2,500円です。

利用方法は、これまでと同様に、お買物1,000円ごとに割引チケット1枚が使用できます。使用期間は、割引チケット到着日から令和7年10月31日までで、利用対象店舗は市内の登録申請を行った事業所や店舗となります。

なお、配布方法は、令和7年5月中旬から6月下旬の間にかけて数回に分けて各世帯へ郵送いたします。

以上です。

- 関戸繁樹議長 はい、阿部議員。

- 14番 阿部 博議員 御答弁ありがとうございます。

お買物チケット事業概要の御説明をいただきました。

それでは、お買い物割引チケット事業は今回で第7弾になりますが、過去6回の事業実績についてお示しく下さい。

- 関戸繁樹議長 環境産業部長。

- 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

実績といたしまして、第1弾につきましては令和2年度に実施し、市民1人当たり3,000円分の割引チケットを配布いたしまして、総事業費から事務費を除く割引額に係る市の負担

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

金額は5億3,189万9,000円で、使用率が94.8%となっております。

第2弾につきましては令和3年度に実施し、市民1人当たり3,000円分の割引チケットを配布いたしまして、負担金額は5億3,474万1,000円で、使用率が95.8%となっております。

第3弾から第5弾につきましては令和4年度に実施し、第3弾につきましては、市民1人当たり2,500円分と、マイナンバーカードを取得した市民1人当たり2,500円分を配布いたしまして、負担金額は7億4,208万6,000円でございます、使用率が97.2%となっております。

第4弾につきましては、市民1人当たり3,000円分を配布し、負担金額は5億3,802万5,000円で、使用率が96.9%となっております。

第5弾につきましては、市民1人当たり1,500円分を配布し、負担金額は2億6,244万7,000円で、使用率が94.6%となっております。

最後に、第6弾につきましては、市民1人当たり2,500円分を配布し、負担金額は4億4,364万8,000円で、使用率が96.5%となっております。

以上です。

- 関戸繁樹議長 はい、阿部議員。
- 14番 阿部 博議員 御答弁ありがとうございます。

これまでお買い物割引チケット事業第6弾まで実施していただきました。それぞれが約95%の使用率で、実際に使用された市民の皆様から、お買い物割引チケット事業の満足感を口にするお声を多数聞かせていただき、市民の皆様喜んでいただけたと思います。

昨年の12月17日に令和6年度補正予算が参議院本会議で可決、成立いたしました。今回の補正予算は、総合経済対策の重点支援地方交付金等の施策が盛り込まれており、物価高に対する国民の生活を守る措置を我が会派としても政府のほうに要望してまいりました。今回のお買い物割引チケット事業第7弾も市民の皆様喜んでいただけるものと確信するものでございます。

最後の質問ですが、今回のお買い物割引チケットの発送時期が、予定では令和7年5月中旬から6月末に分割発送と聞いておりますが、分割発送とは具体的にどのような発送で市民の皆様の手元にお届けされる予定でしょうか。

また、過去においてお買い物割引チケットの盗難被害もあったとお聞きしました。盗難被害に遭われた方の御対応も併せてお聞かせください。

- 関戸繁樹議長 環境産業部長。
- 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

分割発送につきましては、各家庭へ普通郵便でお送りしておりますが、全世帯約8万3,000世帯分を時期をずらして複数回に分けて発送いたします。

また、チケットが自宅に届かないなどの申出がある場合には、チケットの使用状況を確認の上、未使用である場合には再発行しております。

なお、記録上、既に使用済みとなっている場合には盗難のおそれがあるため、警察への御相談をしていただきまして、その上で再発行するとともに、状況に応じまして、市といたしましても警察への相談を行っております。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 阿部議員。

○ 14番 阿部 博議員 分かりました。御答弁ありがとうございます。

公明党市議団も今回のお買い物割引チケット事業は、市民生活の支援と市内の消費の喚起及び商業活性化を目的とした事業でありますので、速やかな発送をしていただき、市民の皆様喜んでいただけるようお願い申し上げます。ありがとうございました。

○ 関戸繁樹議長 他に質疑の発言はございませんか。

谷上議員。

○ 1番 谷上 昇議員 ありがとうございます。市民未来の会、谷上です。

お買い物割引チケットについて質問いたします。

先ほどの山本議員と阿部議員の質問の答弁で内容などは理解しました。和泉市のお買い物割引チケット事業は、もう既に第7弾ということで、その背景には使用率の高さ。先ほどの説明にもございましたが、過去6回の平均使用率は96%を超えているところが分かり、実際、市民の皆様からありがたいという声も聞こえてくる場所ではありますが、事業費総額5億957万7,000円のうち、事務の経費として4,957万7,000円を計上され、事務費は総額の約9.7%を占めています。

それでは、第1弾から第6弾まで今まで実施してこられましたが、その際の事務費の額及び総事業費から見た事務費の割合についてお聞きいたします。

○ 関戸繁樹議長 はい、答弁。

環境産業部長。

○ 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

総事業費につきましては、配布するお買い物割引チケットの金額や、チケットの配布から

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

回収、精算までの事業期間等によりまして異なり、総事業費に占める事務費の割合にも差が生じてまいります。

このことを前提に、総事業費に占める事務費のこれまでの実績でございますが、令和2年度に行った第1弾で市民1人当たり3,000円分を配布いたしました際の事務費は4,490万8,000円で、その割合は約7.8%でございました。

次に、令和3年度に行った第2弾で市民1人当たり3,000円分を配布いたしました際の事務費は4,371万2,000円で、その割合は約7.6%でございました。

次に、令和4年度に行った第3弾では、市民1人当たり2,500円分の配布と、別途マイナンバーカード取得者に対して2,500円分を配布した際の事務費は5,642万8,000円で、その割合は約7.1%でございました。

また、令和4年度は、第3弾に追加しまして、同一事業期間内に第4弾、第5弾の配布事業がございまして、第4弾、第5弾の際には一部重複する事務費を削減することができました。このため、第4弾では市民1人当たり3,000円分を配布し、事務費は3,481万8,000円で、その割合は約6.1%で、また、第5弾では市民1人当たり1,500円分を配布し、事務費は2,334万5,000円で、その割合は約8.2%となっております。

最後に、令和5年度に行った第6弾では、市民1人当たり2,500円分を配布し、事務費は4,351万1,000円で、その割合は約8.9%となっております。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 谷上議員。

○ 1番 谷上 昇議員 事務費については、おおむね事業費の8%前後で推移していることが確認できました。今回の事務費は約9.7%を占めるということで、事務費割合が高くなっていると思いますが、その要因についてお聞きいたします。

○ 関戸繁樹議長 環境産業部長。

○ 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

物価高騰の影響によりまして、印刷に係る紙代やインク代の値上がりのほか、郵送料の値上がりによりまして経費が増加し、事務費の割合が高くなったものでございます。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 谷上議員。

○ 1番 谷上 昇議員 物価高騰の施策をするに当たり、もちろんですが、物価高騰の影響があるのが分かりました。私は、これまでこの物価高騰対策事業について、同じ事業を選択

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

するのであれば、事務費を軽減できる方法が、事業に携わる職員の皆様の経験から可能ではないかと提起してまいりました。このお買い物割引チケット事業は紙のチケットを使い、郵送するといった手段を取られているので、物価高騰の影響が出るのではないかと思います。他市では、先ほどもありましたとおり、地域通貨や地域ポイントを活用した事業の実施や、P a y P a yなどのキャッシュレス決済システムを活用した事業を近隣市でも実施していると聞いています。

それでは、これらの様々な方法について、和泉市の検討状況についてお聞きいたします。

○ 関戸繁樹議長 環境産業部長。

○ 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

府内では、豊中市や高槻市においてキャッシュレスによるプレミアム付デジタル商品券等を実施する予定であることを確認しております。こちらは、プレミアム商品券を希望する市民がスマートフォンを活用してクレジットカードなどでデジタル商品券を購入するものです。

一方で、議員お示しのとおり、P a y P a y等には本市のお買い物割引チケット事業のように、市民がプレミアム商品券等を購入することなく、一定の条件の下、プッシュ型でポイントや給付金を付与することができる仕組みもございます。

しかしながら、この場合には市民の皆さんにスマートフォンに当該キャッシュレス決済システムを御登録いただく必要があることや、当該キャッシュレス決済を望まない市民には、別途従来の紙媒体での対応も欠かせません。また、決済システムの手数料につきましては15%が必要と見込んでおります。

こうしたことから、本事業におけるこれまでの利用状況や事業費など、他の手法とも比較、勘案の上、本市のお買い物割引チケットにつきましては、広く各世代の皆さんから利用しやすいといったお声もお聞きしておりますので、現時点においては、本市での最適な手法であると考えております。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 谷上議員。

○ 1番 谷上 昇議員 ありがとうございます。市においても様々な方法を御検討いただいたということが分かりました。

ですが、現在の社会経済状況を見ても、この先、まだまだこのような交付金による給付に加え、和泉市独自としての施策、市民サービスにおいても長期的に事務費の削減について考えるべきであると思います。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

例えば、出産・子育て応援事業で採用したVISAのプリペイド式ギフトカードで、妊娠時に5万円、出産後にさらに5万円を給付する際に、同じカードで利用できるようなシステムを和泉市で構築して、和泉市行政全般の給付専用カードを和泉市市民へ配布。給付などがある場合にそこに付与でき、また地域経済を回すため、地域通貨的な要素を持たすことは可能であると考えます。

私が考えるより、直接携わる職員の皆様のほうが、さらに実用的な発想をお持ちではないかと思います。和泉市が行政の最先端となって全国へ発信するという市長の意思のとおり、これからの時代に応じた方策をぜひスピード感を持って取り組んでいただきたいと思います。ありがとうございます。

○ 関戸繁樹議長 他に質疑の発言はございませんか。

大浦議員。

○ 2番 大浦まさし議員 大浦でございます。

チケットの発送方法、それから時期については阿部議員から質問があり、理解ができましたので、もう結構です。それから、数回に分けて発送するということについても阿部議員からの質問で分かりましたので結構です。

それで、盗難防止として分割発送されているというところから始めたいんですけども、盗難を防止する策としまして、地域の方から次のようなアイデアをいただいております。内容としましては、配布するチケットに名前を書いてはどうかと。要はクレジットカードの裏に書名欄があるというような、ああいう感じのイメージですね。割引チケットなどを利用する際に、裏面などに書名欄があるものがありますけども、このお買い物割引チケットにも署名欄があれば、誰が使ったのか。また、1人2,500円ですと5枚までの配布のはずなのに、6枚目の署名があればおかしいなということが分かると思います。こうすることで盗難の抑止力になるのではないのでしょうか。このアイデアを市民の方から聞きまして、私もなるほどなと思った次第です。ですので、もし第7弾が検討されるときには言おうかなと思って今日までおったんですけども、そこでお聞きいたします。このチケットに署名欄を設けることができるのかどうかについてお伺いいたします。

○ 関戸繁樹議長 はい、環境産業部長。

○ 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

チケットへの署名につきましては、店舗側の作業といたしまして、枚数確認に加え、署名の有無や署名の真偽の確認が必要となります。また、家族等でまとめて使用されることもあ

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

りまして、1度に相当大量のチケットを使用されない限り、店舗側では不正な使用ということが判断できないといったことがございます。

これらのことを踏まえますと、チケットに署名いただくだけでは不正使用に対する大きな抑止効果が見込めないことや、協力店舗の煩雑な事務も生じますことから、チケットの使用方法の変更は現在考えておりません。

なお、チケットは配布対象者ごとに識別できるようになっておりまして、各店舗で使用され、回収後には配布対象者の使用の有無や、どの店舗で使用されたかをチェックいたしまして、各店舗に対しまして、その割引額を精算することとなっております。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 はい、大浦議員。

○ 2番 大浦まさし議員 分かりました。

事務作業も増えて、店舗側も負担が出てしまうということですね。

今回のお買い物割引チケットでは、他の方法などを検討する時間はもうなかなか難しいと思いますが、実際にチケットの確認とか店舗ではできなかったとしても、署名が必要だということで、不正があれば後でばれるのではないかなという心境に使う側にすることが抑止につながるんじゃないのかなというふうに思いますので、また、署名欄を作るのも、ちょっと空白を作るだけで済みますので、よい案だなと。やはりその話を聞いても私は思っておりますので、少し残念に思っております。

もし次回、第8弾が——先のない話かもしれませんが——あるようであれば、盗難防止の抑止力となるような手法も、それも含めてぜひ検討していただきまして、対策を取っていただきたいと申し上げて終わります。

○ 関戸繁樹議長 他に質疑の発言はありませんか。

原議員。

○ 7番 原 重樹議員 7番・原です。

まず、最初に言っておきますけど、議案そのものについては賛成の立場なんで、ただ、今までの答弁等も含めてですけど、なるべく重ならないようにしながら、ちょっと確かめだけしておきたいというふうに思います。

今までからも出ておりますけども、大体1億3,000万円近く一般会計から繰入れしてるということがあります。過去の6弾までやられてるのかな、今。資料ではそうなってますけど、過去の交付金的なこのやり方で、どの程度一般会計からの繰入れがされてるのかについてお

聞かせを願います。

○ 関戸繁樹議長 市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田です。

臨時交付金事業における過去3年間の市の負担額につきまして、令和3年度決算が4,182万7,000円、令和4年度決算が1億9,249万円、令和5年度決算が8,870万1,000円です。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 原議員。

○ 7番 原 重樹議員 ありがとうございます。

ただ、ちょっとしつこいようで申し訳ないですけども、地方創生の臨時交付金等々のものというのは、別段お買物チケットだけじゃなくて、いろんな事業、今までも事業やったと思いますので、ちょっとお買物チケットに関してどうなのかというところをお聞かせ願いたいと思います。

ただ、なぜそんなしつこくやるかといいますと、今回、一般会計からの繰入れというのが、簡単に言えばですよ、ざっと計算したら4分の1なんですね。25%ということもあって、改めてお買物チケットでの分については幾らなのかということをお知らせください。

○ 関戸繁樹議長 環境産業部長。

○ 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

お買い物割引チケット事業における過去6回の市の負担額でございますが、令和2年度決算が8,080万7,000円、令和3年度決算が312万1,000円、令和4年度決算が1億7,805万8,000円、令和5年度決算が2,096万5,000円です。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 原議員。

○ 7番 原 重樹議員 ありがとうございます。

令和4年度が多いというのはあるんですけども、ただ、このときはお買物チケット、資料でも分かるように3回やってまして、1億7,000万円余りのと言いますが、ただ、それ全部したにしても、一般会計から繰り入れたにしても、簡単に言うと10%程度の話ですよ、全体の事業費からしますと。だから、今回25%云々ということからすると、4分の1ということからすると非常に多いということは指摘をさせていただきます。

先ほど山本議員の答弁の中で、2,000円では足らんし、2,500円にしたならこうなったということなんだろうけども、それはもうそういうふうには受け止めてはおきますけれども、指摘

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

だけはしておきます。

次に、ちょっと時期の問題ですけれども、これは、要するに先ほどから出てますように、12月17日に国会のほうで予算を採決されて決まって、それで、いわゆる低所得者の分については12月の議会で間に合うたら補正でやります言うて、追加補正してやられた分ですよ。それと一緒に時期に出てる分だというふうに思いますけれども、要は、そういう12月17日でやられてたものが、低所得者の分はそれなりにやったわけですけれども、今回のこの分について間に合わなかったということなんだろうというふうに思いますけれども、その辺の理由と、それと、簡単に言ったら、その後でいけば今度の第1回定例会ということになりますけれども、それでは遅くなるということなんでしょうけれども、しかし、その辺にしなかった、わざわざ臨時の議会開かねばならなかった、その辺の理由について教えてください。

○ 関戸繁樹議長 はい、市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田です。

今回の臨時交付金につきましては、国予算の成立と同日付の昨年12月17日に本市への配分額が国から示されております。住民税非課税世帯への給付金に関しましては、事業内容が事前におおむね決まっていたことに加えまして、給付実績に応じて国から交付金が配分されることから、国予算の成立後、直ちに第4回定例会で追加の補正予算を提案ができましたが、今回の推奨事業メニュー分に関しましては、国の詳細な情報や配分額などを把握した上で事業を決定する必要があることから、第4回定例会では間に合わなかったところでございます。

次に、臨時会をお願いした理由につきましては、国からは可能な限り早期の予算化に向けた検討を進めることを推奨する通知があり、本市としても迅速な対応により早期に事業効果を得ることが望ましいと判断したこと。また、臨時交付金に関する実施計画を国へ提出する期限が1月24日ということもありまして、今回の臨時会をお願いするに至ったところです。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 原議員。

○ 7番 原 重樹議員 一応分かりましたということにしたいと思うんですけども、意見だけ申し上げておきたいというふうに思います。

12月17日に、簡単に言ったら国のほうからしたら予算化された中身ということには当然なるんですけども、一方、低所得者の分というのは、多分国100%の分でやられてるというふうには思いますけれども、それはそれとしまして、ほんまに臨時議会まで開いてという話は言いましたけれども、国への提出期限が1月24日ということを言われてますけど、これは簡単

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

に言ったら、市がこうしますよということを国に提出するときだと思うんですね、一言で言えばね。だから1月24日、国のほうもこんな日付で議会を通して云々というようなことを求めたのではないと思いますけども、市としての考えを1月24日までに出してくださいねという、そういう発想での日付だというふうに思いますけど、その辺は。だから、聞きますと、和泉市はいつも議会で議決した後でみたいな話にはなってるようではありますけどね。ただ、これそのもの自体はそうそう動かすという、早めるといいますか、そういう理由にはならないだろうというふうには思っております。

もう一つ、時期的な問題で言いますと、12月議会には間に合いませんでした。第1回定例会で今回やると遅れますということですよ、簡単に言えば。かなり遅れてくるということがあるということやられるということなんで、それはそれで聞いてはおきますけども、このことによって、たまたま市長選挙のときに合わせたように、簡単に言えばこれが配布されるという時期になった。だから、私、たまたまという言葉を使いましたけども、なった。聞いてもそれに合わせたわけでありませぬという答弁が返るでしょうから、もうそれは答弁は要りませぬけども、そういうことになったんだろうということに理解をしておきたいというふうに思います。

最初に申し上げましたけど、別に反対をするつもりはございませんので、そのことも申し上げておきます。

以上で終わります。

○ 関戸繁樹議長 他に質疑の発言ございませんか。

坂本議員。

○ 5番 坂本健治議員 5番・坂本健治でございます。

通告していませんでしたが、もう要望だけで終わりますので、議長、お許しいただきたいと思っております。

今、るるいろいろ質問されてたと思うんですけど、私も以前からこのお買物チケット等に対しては、所得制限を設けなく、今まで多くの国の補助金制度もろもろを活用した中でも、基本的にはやはり低所得者というようなところにスポットを当ててやってたかと思うんですけど、本当にこの物価上昇は低所得者だけに対して厳しいだけではなく、やはり中間層の方々も大変厳しい思いで生活されてるというところと、また、納税されてる方の義務の中の税金の活用ということで、僕はふだんからこの所得制限をなくしていただきたいという要望をして、今回は所得制限ないんで、それはすごくありがたいと思うんですけど、こういっ

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

た事業のところ、今問題になってるのが、この補助金の活用に対して委託業者に振ったら、1次委託、2次委託、3次委託、中抜きがあほほどあって、実際、その市民の方々に対してのところに対しては何%この効果があるのかというところも今問題になってきております。今回のことは、それは問題ないというふうに思っておりますけれども、そういった中で、もう一つ大切なのが、このスピードだと思うんですね。

これ、同じようなチケットのやり方、委託してる先も、手法も、ほぼほぼ変更なくこの6弾まで行われてたということに対しては理解してる中で、やはりこの事業検証の中で、きちんとした事業検証をやった中で、やっぱりスピーディーに、少しでも無駄をなくした中で、何かというと、この補助金、これ臨時議会やってるところは何かと言ったら、スピーディーにこの政策のお金を市民に還元できるような形にしろという趣旨だというふうに思いますけれども、この期間がなかなか縮まらない。問題点もいろいろあるというのは説明も受けました。理解もいたしました。

しかしながら、やっぱり同じことなんで、一からやることに比べたらもう慣れてきてるといふ部分もありますし、それと、もう一つやっぱりこの議論の中に、少しでも、1か月でもいいので、1週間でもいいので、早くできる方法はないのかというような検証も、今後、他の課でもそうですけれども、こういった補助金を使うときには、やはり今タイムリーに、物価上昇しておりますし、タイムリー何かをやらなアカンというところに対して、やっぱりスピード感を重視していただきますよう要望して終わります。

以上です。

○ 関戸繁樹議長 他に質疑の発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

他にないものと認め、質疑を終了いたします。

これより討論を行います。

討論の発言はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

別にないものと認め、討論を終了いたします。

これより採決をいたします。

議案第1号を原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

○

○ **関戸繁樹議長** 以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

お諮りいたします。本臨時会はこれをもって閉会いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

それでは、閉会に当たりまして市長の挨拶を願います。

市長。

○

(市長登壇、閉会挨拶)

○ **辻 宏康市長** 閉会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

令和7年和泉市議会第1回臨時会をお願い申し上げ、議案を御提案申し上げましたところ、議員皆様方には慎重な御審議をいただき、御議決賜りましたことに心から厚くお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

本臨時会を通じまして議員皆様方からいただきました御意見、御要望につきましては、十分その趣旨を尊重させていただき、今後の市政運営に取り組んでまいりたいと存じます。今後とも御指導をよろしくお願い申し上げます。

以上、誠に簡単でございますが、閉会に当たりましての挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○ **関戸繁樹議長** 市長の挨拶が終わりました。

○

◎閉会宣告

(議長閉会挨拶)

○ **関戸繁樹議長** 閉会に当たりまして、一言御礼申し上げます。

議員各位には、臨時会開催に当たり、急な開催にもかかわらず、付議された議案等に対しまして慎重なる御審議を賜り、誠にありがとうございました。

市議会といたしましても、今後も市長をはじめ関係機関との連携を図り、迅速な対応ができるよう努めてまいりたいと思います。

また、令和7年第1回定例会も間近に迫っておりますことから、議員各位には御苦勞をおかけいたしますが、議事運営に格段の御協力をお願い申し上げます。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

理事者の皆様には、今後も引き続き、政策の緊急性や優先順位などの検証を行い、しっかりと将来を見据えたまちづくりを実現していただけますよう、よろしく願いいたします。

それでは、これもちまして令和7年第1回臨時会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

(午前10時54分閉会)

○

会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

和泉市議会議長 関 戸 繁 樹

同 署 名 議 員 谷 上 昇

同 署 名 議 員 井 阪 雄 大